

学園報
第26号

はたらき人

沖縄聖書学園 (沖縄信徒聖書学校・沖縄信徒伝道者学校・沖縄聖書神学校)
沖縄信徒聖書学校校長：新垣栄市 沖縄信徒伝道者学校校長：城倉 翼
沖縄聖書神学校校長：喜友名朝英 学園事務局 (平良善郎 090-3418-5747)

いま日本の教会は危機的状況にあるといわれています。教職・信徒が高齢化し、若者の姿が教会から消えている。その上無牧教会も増加し、一人の牧師が幾つもの教会を兼牧し、定年を迎えても引退しようにも引退できないというのを耳にします。それは献身者が少なく各神学校の入学生が一人か二人という状況が続いているということにも一因があるでしょう。さらに、統計的に二一〇〇年頃には日本から教会が無くなる、と警鐘を鳴らしている方がおります。勿論、沖縄も例外ではありません。この沖縄から教会だけでなくキリスト者もいなくなるという

衝撃的な出来事がやってくるというのです。この危機を乗り越えるために、初代教会は一つのモデルになるのではないのでしょうか。初代教会は激しい迫害という危機的状況の中にありました。だが宣教は進み、爆発的に教会は拡大していきました。エルサレム教会は激しい迫害に合い、「使徒たちが外はみな」諸地方に散らされたました(使徒八章一節)。逃げたのです。逃げざるを得ないほどの迫害が激しかったということですが、しかし、信徒たちは逃げる先々で証し、伝道したのです。信徒たちの伝道への情熱、エネルギーはどこから来たのでしょうか

うか。彼らはキリストの十字架の犠牲愛に圧倒され感動し、それに突き動かされたのです。ペテロが告白しているように、「この方以外には、だれによっても救いはありません。」(使徒四章一二節)という信仰の確信と「使徒たちの教えを守り」(使徒二章四二節)霊的訓練を受けていたことにあります。こうして、彼らは喜んで「宣べ伝えよ」(マルコ一六章一五節)という主の要請に応えたのです。いま、初代教会のようにキリストの愛に突き動かされた情熱ある信徒と牧師が協力して伝道と教会形成に力を注ぐことができるならば、将来は明るいといつてよいのではないのでしょうか。私たちの学園は、正にそのような信徒、伝道者の養成のために創立されました。卒業された方は牧師、伝道師、牧師夫人、役員、地方集会及びセルのリーダーとして活躍しています。



はたらき人を求む！
沖縄信徒聖書学校校長
新垣 栄市
(沖縄グロリーチャーチ)

聖書を正しく 読むために

「組織神学を学ぶとは」
大瀧信也 (組織神学担当教師)

現在、どの神学校でも組織神学という学科が教えられている。私も、若き日に神学校に入學し、この学科を学び、聖書に示された真理の理解が、すっかり、はつきりした経験がある。

二〇世紀前半の米国の神学者ヘンリー・シーセン博士はこう述べている。「人間の知性は、単にいろいろな事実を積みかさねただけでは満足せず、いつも知識の統一、組織化を求めてやまない。」

靈感された、誤りのない神のことばである聖書(第一テモテ三章一五節)には、聖書、神、天使、人間、救い、教会、終末について様々な真理が述べられて

ている。この様々な真理を論理的に整理して論理的に体系化(組織化)して提示することが組織神学である。そして、こうして提示されたものが教理である。例えば、神について聖書が述べている様々な真理を論理的に整理して、論理的に体系化して提示することだけでなく、聖書の教理、神の教理、天使の教理、人間の教理、救いの教理、教会の教理、終末の教理について、これらの教理の相互の関係をも論理的に整理して論理的に体系化することが組織神学である。

組織神学は教養学とも呼ばれる。組織神学には、キリスト教倫理学とキリスト教弁証学が含まれる。前者は、組織神学の真理に基づいていかにふるまうべきかを述べるものであり、後者は、組織神学の真理の正しさを、この世の思想や宗教に対して証明するものである。

わたくしたちは、組織神学の真理に基づいて、異端の誤った点を指摘することができる。

組織神学は、聖書の教会形成と聖書の伝道に貢献することができる。組織神学の真理を欠いた教会形成は、偏った、非聖書的な教会形成になりやすい。また、組織神学の真理を欠いた伝道は、聖書が期待する魂を生み出さない可能性が大きい。

組織神学は、神のことばである聖書全体に示された真理を論理的に整理して論理的に体系化することであるが、この業は、日々の祈り深い聖書の学びと聖徒の交わりである教会生活のなかで進められなければならない。

組織神学の業は、初代教会の時代から今日にいたるまで続けられている。初代教会のペテロやパウロの説教、パウロの手によるローマ人への手紙やガラテヤ人への手紙、二世紀の後半に今の形になったと言われる使徒信条、さらに、歴代の正統的な信条や信仰告白や教理問答は、いずれも組織神学である。カルヴァンの『キリスト教綱要』やハイデルベルク信仰問答は、そ

聖書翻訳宣教基礎統計 2020年世界ウィクリフ同盟発表

- ①世界の人口：(約78億人)
- ②世界の言語数：(約7,300言語)
- ③聖書翻訳プロジェクトを始める必要があると思われる言語数：(2,014言語)
- ④聖書のある言語数：聖書全巻がある(704言語)、新約聖書はある(1,551言語)、分冊・聖書物語はある(1,160言語)合計(3,415言語)
- ⑤聖書翻訳プロジェクトが進行中の言語数(2,731言語)。

沖繩聖書学園

在学生紹介



信徒聖書学校

一年生

新垣勝利

(那覇バプテスト教会)

伊波愛星

(泡瀬バプテスト教会)

翁長恵美子

(高原ホーリネス教会)

金城 功

(那覇バプテスト教会)

金城真偉

(那覇バプテスト教会)

佐喜眞 歩

(胡屋バプテスト教会)

千田初美

(屋富祖バプテスト教会)

宮城修一

(胡屋バプテスト教会)

二年生

新垣美郷

(金武バプテスト教会)

石垣マリヤ

(前原バプテスト教会)

聖書神学校

一年生

稲本潤一

(同盟沖繩中央教会)

高石カツエ

(礼邦バプテスト教会)

外間永二

(教団・平良川伝道所)

屋比久 旻

(那覇バプテスト教会)

三年生

伊是名 浩

(基督恩寵教会)

城間 恵

(沖繩愛の教会)

神学校聖書科

親泊紀博

(那覇バプテスト教会)

宮城由香

(胡屋バプテスト教会)

神学校聴講生

小田島由美

(首里福音教会)

小渡里子

(首里福音教会)

二〇二二年度 — 学生募集 —

★信徒聖書学校

- ・修学年限二年
- ・募集人員二〇名
- ・願書締切り三月末日
- ・詳細は入学案内を参照

★信徒伝道者学校

- ・修学年限二年
- ・募集人員二〇名
- ・願書締切り三月末日
- ・詳細は入学案内を参照

★沖繩聖書神学校

- ・二〇二二年度の入学はありません。二〇二三年度に入学となります。
- ・修学年限四年

★神学校聖書科

- ・学生募集参照
- ・願書締切り二月末日

信徒聖書学校で 学んで



小田島由美姉

(首里福音教会)

「見よ、冬は過ぎ、雨もやんで、すでに去り、もろもろの花は地にあらわれ、鳥のさえずる時がきた。」一日語歌と雅歌の一章にありますように、新緑や色とりどりの花々が野山に萌え出で、小鳥のさえずりに心が躍る季節となりました。

春は新しい命の芽吹き季節ですが、二年前の春、夫を亡くして間もなかった私は、主の深い慰めと今後の導きについて主の御心を求めて聖書学校に入学いたしました。

聖書学校では週に一回、一年に亘り、聖書について実に様々な角度から教えていただきました。先生方には心から感謝いたしております。思い返せば最初の講義は基本中の基本、聖書の御言葉に静まつて聴く「聖應」の時間であり、それからモーセ五書の創世記からヨハネの黙示録までの六六巻を分類別に順を追って、丁寧かつ情熱

を持って解説していただきました。旧約聖書では天地創造からアブラハムの選び、イスラエルの民の歴史や、詩篇などの聖文書に預言書、そして至る所に示されたメシア預言。新約聖書では四福音書における旧約の預言の成就、主イエスの昇天後いかに聖霊の働きにより使徒たちを通して、福音に無関係でありながら教会が形成されていったかという事実や、終末においていかに主イエスが再臨され御国が完成されるのかについて学びました。また、聖書各巻の学びと並行して、聖書や神について、救いや終末、教会についてなど、一人では到底学ぶことのできない様々な事柄を凝縮して総合的に学ぶことができたことはこの上ない喜びでした。

また、昨年はコロナ禍に見舞われ例年通りのクリスマスを祝うことは出来ませんでした。コロナ禍だからこそできることを、神学生と聖書学園の皆で知恵を出し合っつて話し合い、初めての「証し集」を作成することができたことも大きな恵みでした。一人ひとりが主への感謝の証しを捧げることによって、お互いどのようなかから主に選び出されたのかを知ることができ励まされました。

さらに共に学ぶ同期に恵まれたことも素晴らしい祝福でした。神



の愛の深さ、救いの御業、聖書の語る創造・随落・回復・完成など、神の壮大な計画について学ぶと同時に、各個人が直面してきた、あるいは直面している人生の様々な局面において、共に祈り合い、励まし合いながらお互いの成長を喜び、信仰を分かち合うことができたことは何物にも代えがたい幸せでした。学んでもたった一人だけで分かち合う相手がいなければこの喜びは半減していったことでしょう。生ける神の言葉がいかに私たちを練り鍛えて変えて下さっているか、学びを通して体験させていただきました。私自身、神の究極のご愛に触れられ壮大な救いの計画に圧倒され、完全な復活の希望をしっかりと握りしめて死別

最後に、私に語られているいくつかの御言葉でもって締めくくらせていただきます。「まず神の国と神の義を求めなさい。」(マタイ六章二三節)。「神の御前で、また、生きていられる人と死んだ人をさばかれるキリスト・イエスの御前で、その現れとその御国を思いながら私は厳かに命じます。みことばを宣べ伝えなさい。時が良くて悪くてもしっかりとやりなさい。」(第一テモテ四章一節・二節)。「死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、わたしはあなたにいのちの冠を与える。」(黙示録二章一〇節)。そして、「わたしはすでに来るとも奪われないように、持っているものをしっかりと保ちなさい。」(黙示録三章一二節)。

人知を遥かに超える愛をもって創造された神の国の完成と魂の救いのために、私たちに任されている務めに想いを馳せ卒業の挨拶とさせていただきます。